

第29回 姉妹都市交流 少年剣道大会

相馬市の少年剣士たちが流山市へ



第29回 姉妹都市交流少年剣道大会



29回 姉妹都市交流少年剣道大会



流 剣

流山市剣道連盟広報誌

平成26年12月24日
第三十九号

発行人 安達 友昭

流山市剣道連盟事務局
昆野 雄三(☎7159-0278)
ホームページ
http://ryukenren.com

八月二十三日(土曜)、第二十九回姉妹都市交流少年剣道大会が、流山南高等学校で開催されました。当日は、総勢約百五十人が参加し、盛大に行われました。

開会式では、流山市の安達会長、相馬市の阿部会長のあいさつの後、井崎流山市長をはじめ、来賓の方々からあいさつをいただきました。その後、流山市の選手を代表して、中村一輝さんの歓迎のことばがあり、試合が開始されました。

相馬市の選手は、試合前の気迫あふれるウォーミングアップそのままの試合展開で、流山の選手も気合が入り、随所に好試合が展開されました。団体戦の決勝戦は、流山市Aチームと相馬市Aチームの対戦となり、先鋒・次鋒と接戦で先取され、流山は後がなくなりました。中堅の試合も接戦でしたが、制限時間ぎりぎりのところで面一本を決め、何とか後につなげま

大会後は、恒例により、選手による記念手拭の交換会が行われました。その後、指導者有志による熱気あふれる合同稽古が行われ、体育館に気合の入った声が響き渡りました。

夜の懇親会では、第三十八回流山市花火大会を鑑賞しながら、選手、指導者、役員関係者は、剣道談義に花を咲かせ、懇親の輪が広がり大いに盛り上がりしました。翌早朝は、指導者中心の朝稽古があり、前日の疲れも何のその、気合のこもった稽古で、お互いの技を出し合っていました。

その後、相馬市一行は、デイズニールで楽しんで後、帰路の途に着きました。来年は、記念すべき第三十回大会が相馬市で開催されます。三連覇できるよう日々の稽古に励むことを念願しています。(文責：熊倉)



今年五月十一日、名古屋で行われた審査会において、六段に合格することができました。

今回八回目の受審だったこともあり、自分の番号が掲示された際には、嬉しいというよりホッとしたというのが正直な気持ちです。

この一年はあまり稽古をする時間が取れず、稽古量は満足のものではありませんでした。しかし、それでも週三回の江戸川台支部での稽古や、月に一度の流山市合同稽古にて我慢をする稽古が出来たこと合格につながったと思います。ご指導いただいた先生方には心より感謝しております。

審査の内容ですが、二度の立会を通じて有効打突が面返し胴二本しかなく、自分から捨てた技というのが一本も打つことができませんでしたので、手応えは全くありませんでした。しかし、今までの審査とは違い、無駄打ちをせず、相手の打突に対しても手元を浮かせず冷静に対処でき、結果、相手に一本も有効打突を打たせなかったことが良い結果につながったのだと思います。

今後も、現状に満足することなく、更なる上を目指して精進してまいりたいと思いますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

六段に合格して 江戸川台支部 長島 和宏

今年の五月十一日、名古屋で行われた審査会において、六段に合格することができました。

今回八回目の受審だったこともあり、自分の番号が掲示された際には、嬉しいというよりホッとしたというのが正直な気持ちです。

この一年はあまり稽古をする時間が取れず、稽古量は満足のものではありませんでした。しかし、それでも週三回の江戸川台支部での稽古や、月に一度の流山市合同稽古にて我慢をする稽古が出来たこと合格につながったと思います。ご指導いただいた先生方には心より感謝しております。

審査の内容ですが、二度の立会を通じて有効打突が面返し胴二本しかなく、自分から捨てた技というのが一本も打つことができませんでしたので、手応えは全くありませんでした。しかし、今までの審査とは違い、無駄打ちをせず、相手の打突に対しても手元を浮かせず冷静に対処でき、結果、相手に一本も有効打突を打たせなかったことが良い結果につながったのだと思います。

今後も、現状に満足することなく、更なる上を目指して精進してまいりたいと思いますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

事務局だより

各審査での結果などをお伝えします

速報!

六段 矢幡哲夫(流山) 十月二十五日

三段

- 星野滉行(南高)
- 渡邊真美子(東支部)
- 渡邊麗(流山高)
- 小川理紗(流山)
- 大里佐和子(流山高)
- 溝口裕樹(流山高)

四段

- 小森基之(東) 三月九日

初段

- 神谷俊希(常盤松中)
- 鈴木颯太(南高)
- 諸隈航輔(常盤松中)
- 角田優生(常盤松中)
- 土橋央和(北高)
- 榎本啓吾(北高)
- 河原篤史(北高)
- 藤原拓太(東深井中)
- 藤谷涼平(東深井中)
- 長島雄大(東深井中)
- 板井皓哉(常盤松中)
- 石川智也(常盤松中)
- 大塚康祐(東部中)
- 日暮拓海(流山)
- 矢口春華(東深井中)
- 東海林桃香(流山警察)
- 荒巻玲奈(北高)
- 田口寧々子(常盤松中)
- 恩田来夢(常盤松中)
- 小柳日和(常盤松中)
- 重谷由紀(江戸川台)

二段

- 松山匠(南高)
- 青柳宏太(南高)
- 山崎駿(南流山中)
- 大森秀斗(常盤松中)
- 東翔太(南流山中)
- 山本亮(常盤松中)
- 安藤瑞生(東深井中)
- 大西一真(東部中)
- 片野福大(おおたかの森高)
- 田村翔吾(おおたかの森高)
- 及川信一(成顕寺)
- 森憲政(東)
- 遠藤美紀(八木中)
- 市東沙彩(常盤松中)
- 染谷真衣(東部中)
- 川島鶴宮(八木中)
- 相馬菜々佳(流山)
- 黒部真詩(流山)
- 千田令子(江戸川台)

平成二十五年 千葉県剣道功労賞

平成二十五年年度の功労賞の表彰式が平成二十六年三月二十九日に県武道館で行われ、流山市剣道連盟からは以下の団体・個人が受賞されました。

- 剣道連盟功労賞(団体)
- 流山警察剣道クラブ
- 少年剣道指導者表彰
- 大久保 由美(流山警察剣道クラブ)
- 宮沢 民恵(流山)

五級

- 小野寺有彩
- 森田美咲
- 太田凛花
- 東條太志
- 須賀亮介
- 小森咲季
- 藤塚稔太郎
- 渡部 乃
- 山吹文乃
- 森田佳奈美
- 柴山陽菜
- 荒井美来

四級

- 原田祐太郎
- 福林善生
- 大橋玄人
- 稲垣周
- 鈴木太誠
- 石井和彰

三級

- 長濱香月(流山警察)
- 荒井来夢(東)
- 神谷知里(流山警察)

二級

- 野原雄虎(江戸川台)
- 松本智志(江戸川台)
- 稲生樹南(東)
- 梅田正義(東)
- 片岡礼輝(流山警察)
- 小林英志(流山警察)

七級

- 佐藤大輔
- 佐藤巧巳
- 片岡大樹
- 鈴木瑛真
- 山田竜乃介
- 柴山雄太郎

編集後記

流剣三十号はお楽しみいただけましたか。ちょうど前号をお届けしたあけくから天候地震を感じる異常気象が相次ぎました。皆様や大会のために寒雨や風を気にしながら準備中ですが、今年もそれなりに準備は進んでいます。今年もそれなりに準備は進んでいます。今年もそれなりに準備は進んでいます。

編集委員

- 武田まいこ 田中米秋 田部井弘次
- 長崎尚 南雲嘉弘 宮崎聖弘



五市親善剣道大会

平成二十六年七月二十一日に野田市で行われた「第六十四回 五市合同親善剣道大会」での一般団体戦で、流山市が見事優勝しました。おめでとうございます。

出場選手
 監督 井上透
 大将 住吉正文
 副将 齊藤親一
 三将 松宮直人
 中堅 森田博幸
 五将 上野達之
 次鋒 宮沢愛香
 山崎将司



小学生強化稽古会 活動ご報告

小学生強化稽古会は会場確保の都合もあり毎月不定期に行なっていますが、皆さんにも是非一度、小学生が厳しい稽古に臨み頑張っている姿をご覧いただき、お気軽にお越しくださいとお願いいたします。

(文責：松宮)

小学生強化稽古会を十二年間継続して参りましたが、これまでに参加した小学生は二百名弱を数え、年を追うごとに中学、高校、大学、社会人と剣道を継続する卒業生も増えてきており、指導陣にとっても嬉しい限りであります。

今回は、そんな流山強化の小学生が実践している具体的な事例を二つほど紹介したいと思います。

一つ目は道場での竹刀(袋)の置き方です。稽古時間中、予備の竹刀(竹刀袋)は皆さんどのように置いていますか？強化の子供たちは壁に沿って(平行に)置くことが習慣化されています。こうすることで整然と置かれるだけでなく、他人が竹刀を踏ぐことなく道場内を歩く事ができます。子供たちへは竹刀を踏いではいけないが、踏かれるように置くこともいけないと伝えています。

二つ目は試合会場でのこと。各種大会へ行きますと試合前に円陣を組んで準備運動、素振り、稽古とこなし、身体を温めることは当たり前ですが、この行為は先に記したようにして行うのでしょうか？準備運動をしたその場に竹刀を置いて稽古場所の確保をしませんか。この行為は先に記した竹刀を踏いではいけないという指導に反することはならないでしょうか？踏かれるように置くことにならないでしょうか？

流山強化の子供たちは黙っていても、準備運動を終え着面するときに当然のように竹刀は手にしてさがり、着面の上、改めて稽古に臨むというところを行っています。これは竹刀を踏ぐ踏られるというところでなく、周囲で稽古をしている他チームの皆さんが竹刀を踏みつけてケガをすることがないようにとの配慮も含まれています。

このように試合の勝ち負けだけに拘ることなく、剣道人として身につけたい心構え、礼儀、所作、他人への配慮などに重きを置き、いづれをとおも小学生剣士の範となるよう指導をしています。

小学生強化稽古会を十二年間継続して参りましたが、これまでに参加した小学生は二百名弱を数え、年を追うごとに中学、高校、大学、社会人と剣道を継続する卒業生も増えてきており、指導陣にとっても嬉しい限りであります。

今回は、そんな流山強化の小学生が実践している具体的な事例を二つほど紹介したいと思います。

一つ目は道場での竹刀(袋)の置き方です。稽古時間中、予備の竹刀(竹刀袋)は皆さんどのように置いていますか？強化の子供たちは壁に沿って(平行に)置くことが習慣化されています。こうすることで整然と置かれるだけでなく、他人が竹刀を踏ぐことなく道場内を歩く事ができます。子供たちへは竹刀を踏いではいけないが、踏かれるように置くこともいけないと伝えています。

二つ目は試合会場でのこと。各種大会へ行きますと試合前に円陣を組んで準備運動、素振り、稽古とこなし、身体を温めることは当たり前ですが、この行為は先に記したようにして行うのでしょうか？準備運動をしたその場に竹刀を置いて稽古場所の確保をしませんか。この行為は先に記した竹刀を踏いではいけないという指導に反することはならないでしょうか？踏かれるように置くことにならないでしょうか？

流山強化の子供たちは黙っていても、準備運動を終え着面するときに当然のように竹刀は手にしてさがり、着面の上、改めて稽古に臨むというところを行っています。これは竹刀を踏ぐ踏られるというところでなく、周囲で稽古をしている他チームの皆さんが竹刀を踏みつけてケガをすることがないようにとの配慮も含まれています。

このように試合の勝ち負けだけに拘ることなく、剣道人として身につけたい心構え、礼儀、所作、他人への配慮などに重きを置き、いづれをとおも小学生剣士の範となるよう指導をしています。



気配りも実力のうち 竹刀袋にも心をつける



地区対抗剣道優勝大会

地区対抗剣道優勝大会は成田の体育館補修工事のため、今年は場所を代え、館山市の体育館で11月22日(土)に開催されました。

今回は遠方館山まで、日帰りという強硬スケジュールのため、選手にも影響があったと思われます。遠方にも拘わらず応援において頂いたご父兄の皆さまに感謝いたします。

区分	一般の部	高校生の部	中学生の部	小学生の部
監督	昆野雄三	崎尾徹也	松宮真人	長島和宏
大将	上野達之	飯田桜太	長島雄大	中村孝輝
副将	上野 純	星野晃行	神谷俊希	矢幡美空
三将	福永貴幸	—	—	—
中堅	伊藤 翼	後藤 樹	高橋海智	海老原光希
五将	山崎将司	—	—	—
次鋒	堀口千春	牛山栄美	上野梨央	小川紗季
先鋒	宮沢愛香	中川 将	鈴木颯太	崎尾野乃花

○小学生の部は匝瑳市と対戦1:2で惜しくも敗退

○中学生の部は一回戦匝瑳市に対し2:1と勝ち二回戦で昨年準優勝のいすみ市と対戦善戦したが全国レベルの選手を擁したいいすみ市に1:3で敗れた

○高校生は一回戦いすみ市との代表選を制し、しぶとく2回戦へ進出ここで柏市と対戦したが僅差敗退

○一般は長生と対戦0:3で敗れた



千葉県民大会

千葉県民大会は十一月二日(日)船橋市アリーナで開催された。

初戦は館山市と序盤から接戦となり一対一のまま大将戦へ持ち込みも、最後は力尽きた。当市が一対二で惜敗した館山市が準優勝し、流山市の健闘が光った。

出場選手
 先鋒 高橋 宮沢(笑)
 次鋒 宮沢(愛)
 五将 松宮(達)
 中堅 崎尾(達)
 三将 上野(達)
 副将 鈴木(達)
 大将 昆野(達)
 監督 昆野



第48回流山市民剣道大会

第四十八回流山市民剣道大会は十月十三日(月)、体育館で開かれ、市民総合体育館で開催され、小学生から一般の大人まで五百二十三名の参加を得て、熱い戦いが繰り広げられました。一般の部では流山市剣道連盟の会員だけでなく、市内在住の剣道愛好家の方の参加もあり、剣道人口のすそ野の広さが感じられ印象的でした。また、女性一般の部では大学生と高齢の方が激しい戦いを演じ観客の声援も一段と大きくなっていました。

台風十九号の影響が心配されましたが、小中学生の表彰式を午前中に設定するなどして、安全に配慮しながら、なんとか最後の「一般の個人戦」まで無事終了することができました。連盟の先生方、高校生のみなさん、保護者の方々のご協力に厚く感謝申し上げます。(文責：田中米秋 写真提供：矢幡哲夫)

大会入賞者一覧

所 属	優 勝	2 位	3 位	3 位
小学校1年の部	神山竜乃介 ア	浅見佑吉 ナ	栗山雄太郎 ア	-
小学校2年の部	田嶋直志 セ	荒井美来 ア	曾川野吹 一	稲垣 周 ア
小学校3年男子の部	須賀亮介 ア	横瀬友佑 ア	東條太志 ケ	小田 輝輝 ナ
小学校4年男子の部	荒井栄夢 ア	小林英志 ケ	浅見駿吾 ナ	植永晃平 ナ
小学校5年男子の部	矢幡航希 ナ	相馬秀仁 ナ	袴田純太 ナ	片岡礼輝 ケ
小学校6年男子の部	中村孝輝 オ	堀口風馬 ヒ	野見山太樹 ヒ	菅原竜之介 セ
小学校3、4年女子の部	森田佳奈美 ア	神山佳澄 シ	曾川 蘭 一	森田美咲 ア
小学校5、6年女子の部	小川紗季 ナ	崎尾野乃花 ア	橋本莉子 ナ	海老原光希 ア
中学校1年男子の部	鈴木颯太 南東	神谷俊希 常盤	岩井勇人 南東	成島 明 東部
中学校2、3年男子の部	長島雄大 東深	高橋海智 南東	松沢一矢 南東	高野雄地 東部
中学校1年女子の部	能美咲 工	小川 葵 東深	小沼 葵 工	土岐 美 才
中学校2、3年女子の部	上野梨央 南流	菊地梨生 東部	中村 萌 東部	森本 萌 南流
高校男子の部	星野晃行 柏立	中川 将 南高	杉浦虎太郎 柏立	後 藤 樹 柏立
高校女子の部	牛山栄美 流高	渡邊真美子 ア	宮島麗佳 南校	高橋 里菜 柏立
一般青年の部(18~35)	上野 純 ヒ	上野 達 ヒ	上野 達 ヒ	福永 貴 幸 工
一般壮年の部(36~45)	岩切 信之 南流	長島 和 宏 工	青木 義之 ナ	春月 孝之 ナ
一般老年の部(46~58)	立澤 道雄 工	中田 一 夫 ナ	山田 栄二 ヒ	山室 勝 敏 ナ
一般老年の部(59歳以上)	原野 雄三 ヒ	田中 米 秋 工	小松崎 勇 ア	熊倉 和 男 ア
一般女子の部	宮澤 愛 香 ア	宮澤 愛 香 ア	宮澤 民 恵 ア	山下 小 紀 子 北部



江戸川台支部45周年記念剣道大会

去る六月一日(日)江戸川台支部は創立四十五周年記念剣道大会を開催しました。

当日は流山市剣道連盟の各支部と野田市剣道連盟の各支部から合計九団体のご参加を頂き盛大に開催されました。

開会式では平成二十五年年度の記念表彰が行われ九十%以上の出席をした十四名の子供達が努力賞、精進賞の表彰を受けました。日頃からの小松崎支部長のご指導と後援会のご父兄の協力により半数以上の子供達が表彰された事は素晴らしい事だと思います。

午前中の団体戦では江戸川台支部三チームを合わせた十二チームで三グループのトーナメントで熱戦が繰り広げられました。

今年の優勝チームは野田市剣道連盟 春風館道場、準優勝 野田市剣道連盟 梅郷剣友会、三位 流山市剣道連盟 江戸川台 A チームと残念ながら優勝杯を野田市に持って行かれてしまいました。

午前の団体戦に引き続き午後は恒例となった親子試合です。従来の親子試合に比べ、剣道を始められたご父兄が多く、今までは他の方の防具を借りて試合に参加していた方々が自分の防具を付けて試合をする様になり親子の真剣勝負も数多く見受けられました。

個人戦は学年毎に分かれて熱戦が繰り広げられました。日頃の稽古を休まず先生方の指導を真実に聞いていた子供達は上位入賞を果たしていました。やはり稽古は裏切らないということでしょう。

江戸川台支部は創立記念大会を毎年開催していますが、数ヶ月前から試合の準備に当たって頂いている先生方や後援会が良く連携出来ている事で大会が上手く運営出来ています。この伝統を絶やさぬよう部員一同これからも努力して参ります。

(文責 末田尚之)

